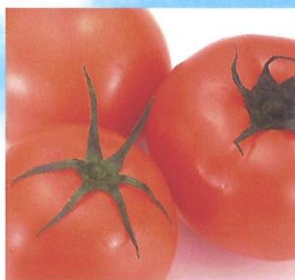




2004 学生募集要項



Miyazaki Prefectural Agricultural Academy
宮崎県立農業大学校

教育課程

教育の目標

急速に変化する社会情勢に対応できる幅広い視野を持ち、高度な技術と経営能力を備えた農業経営者及び地域農業を先導する農業指導者の育成を行い、本県農業の振興、発展に寄与しうる優秀な人材を養成する。

各学科共通科目

一般教養科目 暮らしと経済、人間と社会、英会話、体育、総合科目

専門共通科目 農業経営、地域農業論、農業概論、土壌肥料、農業気象、農業工学、生活経営、生物工学概論、情報処理、環境工学、国際農業論、経営演習

農産学科

水稻・大豆等普通作物と
露地野菜、たばこ、
茶の栽培・加工について
理論と実践の学習

水稻畑作経営コース
茶業経営コース

Message

from student

野 辺 勇 二
(水稻畑作経営コース)

農産学科では、水稻栽培は全員が田植えから稲刈りまで、機械操作を実践します。また、畑では、自分で作りたい作物を決めて栽培します。自分で栽培する作物はちゃんと責任をもって栽培しないといけません。大変だけど、仲間同士でお互い助け合いながら、みんなで作業をするのはとても楽しいです。



農産・園芸学科共通科目 植物生理、植物育種、植物病理、応用昆虫、農業利用、作物栽培概論

農産学科共通科目 生物工学 I

水稻畑作経営コース科目 水稻栽培、稲作畑作機械施設、稲作畑作経営、畑作物栽培、畑作物流通加工、プロジェクト学習

茶業経営コース科目 茶栽培、茶業経営、茶加工流通、プロジェクト学習

Campus Life

生命力あふれる大自然を相手に、快適・充実した学習環境の中、

プロジェクト

Project



基礎理論から
最先端領域まで

学生は、自分のプロジェクト課題を設定します。創造的なプロジェクト活動により、生産技術と経営能力を高め、農業経営者としての能力を身につけていきます。

図書館

Library



知識と情報を
自分のものに

専門書から教養書まで豊富な図書を収蔵し、学生が自由に閲覧できます。平日は午後9時30分まで利用できます。

園芸学科

最先端の園芸施設を活用して、
施設野菜・花き・果樹栽培に
ついての理論と実践の学習

Message

from student

齊 藤 美 香
(果樹経営コース)



私は本校で日向夏の肥大促進対策の学習に取り組みました。袋かけ、収穫など大変な作業もありましたが、仲間の協力を得ながら楽しく作業ができました。果実の生育の変化を直に観察できるのも農大ならではのと思います。無事、収穫を終えたときは、今まで経験したことないような達成感に満たされました。みなさんも農大で学びませんか？

野菜経営コース
花き経営コース
果樹経営コース



農産・園芸学科共通科目 植物生理、植物育種、植物病理、応用昆虫、農業利用、作物栽培概論

園芸学科共通科目 園芸概論、園芸施設、園芸流通、園芸行政、生物工学Ⅰ

野菜経営コース科目 野菜栽培、野菜経営、野菜流通、プロジェクト学習

花き経営コース科目 花き栽培、花き経営、花き流通、フラワーデザイン、プロジェクト学習

果樹経営コース科目 果樹栽培、果樹経営、果樹流通、プロジェクト学習

人間と自然の間に…

君たちの未来が農業の未来 宮崎の未来 地球の未来。

農業を理論的・実践的に

中間と共に豊かな人間性を育む

情報処理室

Information Processing



国際競争力を身につける
情報処理を学ぶ

最新の機種をそろえ3年毎に機種更新をする情報処理室では、情報処理の基礎演習から経営分析、プロジェクトのまとめ、インターネットによる情報収集・発信教育を行います。

サークル

Circle



豊かな個性を
身につける

運動クラブ

野球、サッカー、バスケット、バレー、バドミントン、テニス、卓球、剣道、陸上、ゴルフ、登山など

文化クラブ

華道、茶道、軽音楽、太鼓など

畜産学科

高度先端技術を活用した
酪農及び肉用牛経営に
ついての理論と実践の学習

Message from student

門 田 浩 二
(酪農経営コース)

私は、牛乳が大好きで乳牛についてより詳しく学ぶため農業大学校に入学しました。農業大学校では、将来酪農経営を行うために必要な乳牛の飼養管理や経営について勉強しています。早朝の搾乳や、分娩介助など飼養管理は大変ですが、自分たちで搾った牛乳を飲み、産まれた子牛の元気な姿を見て、毎日、生き生きと充実した日々を過ごしています。私たちが、牛に一生懸命に愛情を持って接すれば、牛たちもそれに答えてくれますので、コースのみんなと楽しく学び作業しています。



酪農経営コース
肉用牛経営コース



畜産学科共通科目 家畜栄養、家畜飼養管理、家畜育種、家畜解剖衛生、家畜繁殖、飼料作物、畜産概論、受精卵移植概論、受精卵移植演習、畜産流通加工

酪農経営コース科目 乳牛飼養管理、酪農経営、プロジェクト学習

肉用牛経営コース科目 肉用牛飼養管理、肉用牛経営、プロジェクト学習

学ぶためのスケールの大きな教育環境が君の夢の実現に必ずフィットします

寮生活

Dormitory

地域リーダーとしての
社会性を身につける

全寮制による共同生活を通して
自律心・責任感・協調性を養う
とともに、自治会活動を通じて
社会組織の基礎活動を体験する
ことで将来の地域リーダーとし
ての指導力を養います。



行事

Event

充実した
キャンパスライフを
送るために

農大祭をはじめとして、探訪
会、全校田植え、球技大会、
プロジェクト発表会などの校
内行事のほか、先進農家研修、
海外農業体験研修など盛りだ
くさんです。



推薦入学者の募集

受験資格

次のすべての項目に該当する者

- (1) 県内の高等学校を平成16年3月卒業見込みの者
- (2) 本校への入学が確実な者
- (3) 県内において卒業後、ただちに農業に従事し(研修後を含む)、かつ地域農業の振興に尽くす意志の強固な者
- (4) 人物及び学業成績が優れ(調査書の評定平均3.5以上) 高等学校長が推薦する者

募集人員

定員のおおむね50%

受験手続き

(1) 出願書類

ア 入学願書 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)

イ 高等学校の調査書(進学用)

ウ 高等学校長の推薦書

エ 営農計画書 (本校所定のもので就農予定の市町村長の所見の記載のあるもの)

オ 受験票 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)

カ 受験票等送付用封筒 宛名明記の返信用封筒2通
返信用封筒については、430円切手を貼付した定形封筒(12×23.5cm程度)と470円切手を貼付した定形外封筒(24×33cm程度)の2通(簡易書留料を含む)

(2) 提出先 宮崎県立農業大学校

(3) 受験料 不要

願書受付期間

平成15年10月20日(月)から平成15年10月31日(金)まで
(土曜日・日曜日を除く)なお、郵送の場合は当日消印有効

試験方法及び期日

(1) 試験期日 平成15年11月21日(金)

筆記試験 10:00～11:50 面接試験 13:10～

(2) 試験科目

ア 必須科目 数学Ⅰ、小論文 イ 面接

試験場所 宮崎県立農業大学校

合格発表 平成16年2月5日(木) 一般入試合格発表と同時に進行。(ただし、各高等学校長には平成15年12月5日(金)に内示する。)

一般入学者の募集

受験資格

次のいずれかの項目に該当する者

- (1) 高等学校を卒業した者及び平成16年3月卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法第56条の規定により大学に入学することのできる者。

募集人員(推薦入学を含む)

学 科	専攻コース	修業年限	募集人員
農産学科	水稲畑作経営コース 茶業経営コース	2年	15人
園芸学科	野菜経営コース 花き経営コース 果樹経営コース		25人
畜産学科	酪農経営コース 肉用牛経営コース		25人

受験手続き

(1) 出願書類

ア 入学願書 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)

イ 高等学校の調査書(進学用)又は受験資格証明書

ウ 健康診断書 過年度卒業生のみ必要(3か月以内の公的機関発行のもの)

エ 受験票 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)

オ 受験票等送付用封筒 宛名明記の返信用封筒2通
返信用封筒については、430円切手を貼付した定形封筒(12×23.5cm程度)と470円切手を貼付した定形外封筒(24×33cm程度)の2通(簡易書留料を含む)

(2) 提出先 宮崎県立農業大学校

(3) 受験料 不要

願書受付期間

平成15年12月1日(月)から平成15年12月12日(金)まで
(土曜日・日曜日を除く)なお、郵送の場合は当日消印有効

試験方法及び期日

(1) 試験期日 平成16年1月19日(月)

筆記試験 9:10～12:10 面接試験 13:10～

(2) 試験科目

ア 必須科目 国語Ⅰ(古典を除く、作文を含む)、数学Ⅰ

イ 選択科目 生物ⅠA、生物ⅠB、化学ⅠA、化学ⅠB、作物、園芸(野菜、花き、果樹、畜産から1科目)

ウ 面接

試験場所 宮崎県立農業大学校

合格発表 平成16年2月5日(木) 午前9時本校玄関前に掲示するとともに、本人あて通知する。なお、電話による問い合わせには応じない。

専攻科の募集

受験資格

次のいずれかの項目に該当する者

- (1) 各県農業大学校の学科を卒業した者及び平成16年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法に基づく短期大学において農業を専修する学科若しくはこれに相当する課程を卒業した者及び平成16年3月卒業見込みの者
- (3) 知事が農業に関して短期大学卒業者と同等以上の学力を有すると認めた者

募集人員(推薦入学を含む)

専攻コース	修業年限	募集人員
農産コース	2年又は1年	2年課程 10名以内
園芸コース		1年課程 若干名
畜産コース		

受験手続き

(1) 出願書類

ア 入学願書 本校所定のもの(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)

イ 卒業(見込み)証明書又は受験資格証明書

ウ 成績証明書

エ 健康診断書 3か月以内のもの(公的機関発行のもの)

オ 受験票 本校所定のもの(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)

カ 受験票等送付用封筒 宛名明記の返信用封筒2通
返信用封筒については、430円切手を貼付した定形封筒(12×23.5cm程度)と470円切手を貼付した定形外封筒(24×33cm程度)の2通(簡易書留料を含む)

(2) 出願先 宮崎県立農業大学校

(3) 受験料 不要

願書受付期間

平成15年10月20日(月)から平成15年10月31日(金)まで
(土曜日・日曜日を除く)なお、郵送の場合は当日消印有効

試験方法及び期日

(1) 試験期日 平成15年11月21日(金)

筆記試験 10:00～14:00 面接試験 14:10～

(2) 試験科目

ア 必須科目 農業概論(農業技術概論、農政事情、農業経営、生活経営)、一般教養

イ 選択科目 作物学、園芸学、畜産学から1科目選択

ウ 面接

試験場所 宮崎県立農業大学校

合格発表 平成15年12月5日(金) 午前9時本校玄関前に掲示するとともに、本人あて通知する。

資格及び特典

学科を卒業した者は、

人事院規則 9-8 に定める「短大 2 年卒」の資格が認められる。

本校専攻科の受験資格が与えられる。

在学中に次の資格の受験機会が与えられる。

大型特殊及びけん引免許(農耕用)、農業機械士、
小型建設機械取扱者、小規模ボイラー取扱者、
危険物取扱責任者、毒物劇物取扱責任者、
家畜人工授精師、2 級認定牛削蹄師

(財)宮崎県農業後継者育成基金教会から卒業後即就農する者は就農研修資金を受けることができる。

(月額 50,000 円以内。定数枠あり)

海外農業体験研修(2 年次実施)

在学中の経費(2 年間)

授業料、寮費(部屋代)は徴収しない。

教材・教具、実習服、制服等	20 万円程度
海外農業体験研修費	30 万円程度
傷害保険料	4 万円程度
自治会費・後援会費	9 万円程度
卒業アルバム代	2 万円程度
寮電気料・共益費	5 万円程度
寮食費	48 万円程度

計 118 万円程度

※ 海外農業体験研修費・食費の 2 年次分を除く経費を入学前に一括納入する

組織

organization

宮崎県立農業大学校

総務課

庶務、会計全般、県有財産管理

農学部

優れた農業経営者および指導者の養成

教務

教育計画および生活指導の総括

農産学科

水稻・露地野菜・たばこ・茶等の栽培、経営技術

園芸学科

施設野菜・施設花き・果樹の栽培、経営技術

畜産学科

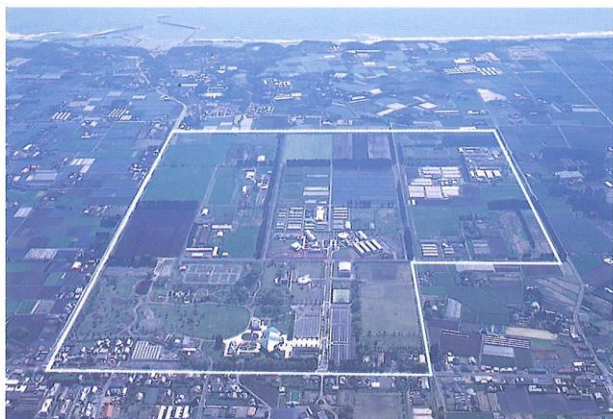
肉用牛・乳牛の飼養、経営技術

専攻科

農業指導者の養成

農業総合研修センター

農業関係者の研修、宮崎県民への農業・農村理解のための研修



海外研修



JR 日豊本線 高鍋駅下車 北へ 8km

バス 宮崎交通バス
高鍋営業所経由 都農 または
日向行 農業大学校前下車

タクシー 高鍋駅より約 15 分

ACCESS

受験手続き等のお問い合わせ先

〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田 5733 番地 TEL (0983) 23-0120

宮崎県立農業大学校 教務まで